

# — 広い心って？ —

## — 相互理解, 寛容 —

5年道徳科 6月 6Q (2時間)  
 附属新潟小学校 教諭 剣 仁美

### 1 本主題で目指す姿

**異なる考えをもつ者同士で対話することを通して、よりよい判断をする子ども**

具体的には、道徳的価値を多面的・多角的にとらえるという「見方・考え方」を働かせ、自分の考えと友達の考えを大切に考える力という資質・能力を発揮して、「許すとは、どういことなのかと考えた。私は、すぐに許せばいいと思っていた。でも、本当に許すということとは違うのかもしれない。〇〇さんは「相手はどうだろう」と相手の気持ちになって考えていた。自分の気持ちも相手の気持ちも考えなければいけない。その場になると、本当に許すということはそんなに簡単にはできないかもしれない。それでも、私は許したいと思う」などと課題解決した姿などと考える姿。

### 2 本主題で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
道徳科	○道徳的価値の理解 <b>【主として人とのかかわりに関すること】</b> 相互理解, 寛容	○これまでの自分の経験やそのときの考え方, 感じ方を想起して考える力 ○相手の立場になって気持ちを考える力 ○自分の考えと友達の考えを大切に「自分はどうするか」考える力	○よりよい自分を求めて自己の確立を目指すとともに、一人一人が他者と共に心を通じ合わせて生きようとする態度

### 3 関連する学習

[第5学年] 道徳科  
— 本当の友達とは？ —



[第5学年] 道徳科  
— 広い心って？ —

### 4 単元の計画

【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
○ 教材文の内容を知り、自分だったらどうするか行為と理由を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc; margin: 10px 0;"> <p>○ <b>【許す】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも失敗はあるから。</li> <li>・ごめんねと言われれば許そうと思う。だって、相手は悪いと思っているから。</li> </ul> <p>○ <b>【許さない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前はあんなに言われたのだから許せるはずがないから。</li> <li>・どうしても言い返さないと気が済まないから。</li> </ul> </div>	◆ 教材文を提示し、「自分だったらどうするか」と行為と理由を問う。 ※ 教材文を印刷したプリントを配付し、読み聞かせる。 ※ 行為とその理由をワークシートに記述させる。 ※ 数名を発表させ、行為と理由を分類して板書する。	
○ 疑問に思うことを考える。 ・この後、どうするのだろう。 ・なぜ、同じ文を聞いているのに考えていることが違うのだろう。	◆ <b>疑問に思うことを問う。【働き掛け1】</b> ※疑問は、付箋に書かせ提出させる。	

・このようなとき、どうすることがよ  
いのか。

○ みんなで考えたいことを考える。

・みんなが疑問に思っていることはどん  
なことだろう。

○このようなときは、どうすることがよ  
いのか。考え方が違う人がいるから、  
みんなで考えたい。  
○許すとはどういうことなのか。自分と  
は違う考えをしている人がいるから、  
どういう風に考えているのか気になる  
から。

・許すとは、どういうことか。  
・このようなとき、どうすることがよ  
いのか。

#### ★ツール活用能力

○考えるための方法を考える。  
・グループもいいけれど、色々な話を聴  
くことができるから哲学対話がいい。

○「哲学対話」をする。  
・どの問いから始めますか。  
※ 多数決で問いを決定する。  
【許すとはどういうことか】  
・相手を受け入れることだと思います。  
・簡単なことではないと思います。ぼく  
は、なかなか許せなくて言い返したり  
仕返しをしてしまったりしたことがあ  
ります。分かっているけど許せないこと  
もあります。  
・どんなときにそう思ったのですか。  
・遊んでいるつもりでふざけていたの  
ですが、相手の手が顔に当たってしまっ  
て、ごめんって言っているけれど許せ  
なくて叩いてしまったことがあります。  
許せないこともあります。

★協働性  
★道徳科①②

○許すとは、どういうことなのかについ  
て考えました。私は、すぐに許せばい  
いと思っていました。でも、本当に許  
すということは、違うのかもしれない  
。○○さんは「相手はどうだろう」  
と相手の気持ちになって考えていま  
した。自分の気持ちも相手の気持ちも考  
えなければいけないと思いました。そ  
の場になると、本当に許すというこ  
とはそんなに簡単にはできないかもし  
れませんが、それでも、私は許したい  
と思います。

★道徳科①②③

○考えることができたことと、理由を  
考える。

※提出させた付箋を、Post-itPlusに取り  
込む。  
※各グループのタブレット端末に送る。

◆ みんなで考えたいこととその理由を問  
う。

【働き掛け1】

◆ 考えるための方法と理由を問う。  
【働き掛け2】

◆ 異なる考えをもつ者同士でグループを  
組み、「哲学対話」の場を設定する。  
【働き掛け3】

※ 対話は、二度行わせる。  
一回目は、10分。二回目は、20分。

※ 対話の後には、各グループでどのよう  
な考えが出たのかを共有させる時間を設  
定する。

◆ 「哲学対話」を通して、考えたことを  
問う。

【働き掛け4】

◆ 考えることができた理由を問う。  
【働き掛け5】